

紀 要 委 員 会

委員長 小林正伸

委 員 薄井 明 内ヶ島伸也

桑原 ゆみ 近藤 里美

櫻井 潤 佐々木明員

編 集 後 記

看護福祉学部紀要が20号ということは、北海道医療大学看護福祉学部の開設以来20年が過ぎたことを意味する。札幌から電車で1時間近くかかる辺鄙な場所に位置し、冬になると吹雪で電車が止まることさえある。長年学部運営・教育に携わってきた先人たちの苦勞のほどが偲ばれる。今こそ、来し方を振り返って、行末を見定めることが必要なのだろう。しかし、高齢化社会・少子化社会の到来の中、今後の医療のあり方がどうなっていくのか、医療従事者の教育がどうなっていくのか、その方向性を見定めることはますます難しくなっている。高齢者が全人口の1/3を占める時代にあって、病気の治療、生存期間の延長をひたすら目指してきたこれまでの医療で果たして良いのか、「幸せに生きる」とは何かを議論すべき時を迎えている。

そうした難しい状況の中で、どのような医療従事者を育成していくべきなのか、その方向性を立ち止まって考える時期が来ているのではないだろうか。

(小林 正伸)